

第一回 文化財保存活用地域計画策定懇話会 議事録概要

[日時] 令和4年10月20日(木) 13:00~15:00

[会場] 静岡市役所 本館4階 44会議室

[出席] 委員：中村 羊一郎、落合 偉洲、篠原 和大、松下 友幸、池田 文信、中村 直保、
田宮 文雄、菊池 吉修

懇話事項

- (1) 文化財保存活用地域計画について
- (2) 静岡市文化財保存活用地域計画について
- (3) 静岡市の歴史について
- (4) 静岡市の文化財について
- (5) 静岡市の主な取り組みについて
- (6) 庁内及び庁外における地域計画作成時の取り組みについて

松下：商工会議所では、静岡市出身で鎌倉時代の高僧である**聖一国師**の顕彰事業を行っている。聖一国師は静岡市の茶祖であり、**大応国師**や**建穂寺**なども含め、**お茶**と絡めたストーリーを作ってほしい。

落合：**寺社仏閣**へ未指定文化財の調査に入るべき。

篠原：**国宝**になるものから始めて説明することが足りないと思う。

中村：**街道筋**もいろいろなものがあるのではないかと。八幡神社で家康が休憩したとも聞いている。指定後の処理をしっかりとするのも重要。駿河区には、**登呂遺跡**がある。その掘り起こしももう一押しして、観光にもうまく利用できれば良い。

田宮：清水区では、**旧東海道の4宿**があり、歴史が残っている。**清水港周辺**、**三保**、**古墳・遺跡**が結構残っている。

池田：**家康公**に関連するものを、いろいろなところで未指定含めて掘り起こし、つなげていくことをやっていただきたい。

中村(羊)：ベストセラーになった「残念な生き物」にならえば、**「残念な文化財」**もきちんと整理しておかなくてはいけないと思った。古墳で言うと、消えてしまい裁判にもなった例があった。文化財の価値がわからないうちに消えてしまうのは残念。問題にならないように慎重にする必要はあるが、こういうこともあるので、みなさんががんばりましょうという問いかけも必要。

松下：文化財保存について静岡市は非常にいろいろなことをやっているが、**活用という部分ではこれからだと思ふ**。静岡市は、「**まちは劇場**」という取り組みをしているので、**お寺も劇場**、**神社も劇場**となれば市民も来訪者も楽しいのではないかと考えている。

落合：静岡市と関係の深い団体。**ボランティアガイド**の意見も聞いてはどうか。地元のいろいろな情報を勉強している。

中村（直）：**地名**について、新しいところは町名を変えている。与一右衛門新田、遠藤新田等、地名が残っているようなところは良いが、まちなかは町名が変わっているし、掘り起こしの材料になると思う。

落合：資料に**防災防犯**というのがあるが、昔からの寺の近くには、例えばイチョウがたくさん植えてあった。イチョウの葉っぱは非常に燃えにくいので、火災が延焼しないように植えられていた。燃えにくい木もあり、そういうことを昔の人達はわかっている、東京大空襲でも焼け残ったお寺や神社の周りにイチョウの木を使っていたというのものもある。

松下：商工会議所としては、**江戸時代**から続き、産業として息づいている**伝統工芸品**やそこから派生して発展した産業という視点は欲しい。また、**徳川みらい学会**という組織が、今年10年目を迎えており、静岡市の歴史を活かしたまちづくりをソフト面から支えている。徳川みらい学会のような組織も、この計画に何かしら位置付けをしてもらいたい。

中村（羊）：**慶喜**さんは、静岡市にとってありがたいコンテンツになっている。西草深の旧慶喜邸も、今は跡形ないが、非常に大きなポイントになった場所なので、何か考えて欲しい。

中村（羊）：文化財課がネタをできるだけたくさん皆さんに提供するのが第一歩になる。文化財課は、市民からもっといろいろな情報を集めるという大変な作業がこれから出てくるだろうと思う。がんばって欲しい。

中村（羊）：2つお願いしたい。一つは、**葵区、駿河区、清水区という区割りはとっぱらっていただきたい。**いつまでたってもいろいろな問題がそこから発生する心配があるし、せっかく静岡市という形で一体化してやろうとしているわけなので、そういった区割りは、あまり意識しないでがんばって欲しい。それから、資料の歴史のあらましを見ていきますと、**江戸時代が極めて薄い。**静岡市の歴史は、家康から慶喜まで飛んでしまい、250年間、静岡市民はずっと寝ていたという風にしか捉えられない。非常に残念なことだと思う。ある程度意識しながら、江戸時代、つまり近世の歴史的な事象をできるだけ発掘していただきたい。静岡市の歴史の厚さをもっともっといろいろな角度から掘り起こす良い機会ではないかと思うので、ぜひ頑張ってください。